

研究シーズを事業へ

ー ATACの事業化アプローチとその実践 ー

TeSHでは、大学・高専発スタートアップ創出に向け、経営者マッチング等の支援を進めていますが、その前段階で研究成果（発明）を事業化可能なテーマへ磨き込み、知財を競争優位につなげることが不可欠です。発明開示は、特許出願判断の入口ではなく、研究者と事業化支援者が出会い、用途・市場の探索や事業仮説の構築、PoC、経営人材探索を始める起点とも言えます。本講演では、研究シーズの発掘から、スタートアップ設立、経営まで、当事者・実行者として取り組むATACの事業化の検討手法やアプローチを、具体的な事例も交えて紹介し、大学・高専における研究成果の事業化について議論します。

2026
10.14(水) 16:00 – 17:30

講師

株式会社先端技術共創機構
ATAC

代表取締役

川上登福 氏



株式会社先端技術共創機構(ATAC)代表取締役。経営共創基盤(IGPI)マネージングディレクター。商社、GE等を経てIGPIに参画し、新事業開発、組織人事、デジタル・AI、スタートアップ投資、産学連携等の案件を多数統括。ATACでは、大学・研究機関の優れた研究成果を発掘し、事業化に向けた戦略・経営・資金調達・組織構築を一体的に実施。研究成果を社会実装につなげる実践的知見を有する。



お申し込みはこちら

オフライン会場

TeSH北陸拠点

【定員15名】

WESTビルディング1階

(金沢市広岡1-3-10)

オンライン会場

Zoom

【定員50名】

対象者

TeSH創出共同機関
当事者の方々(研究者・学生ほか)
TeSH創出共同機関
支援者の方々(URA・産学連携担
当・SUコーディネータほか)